

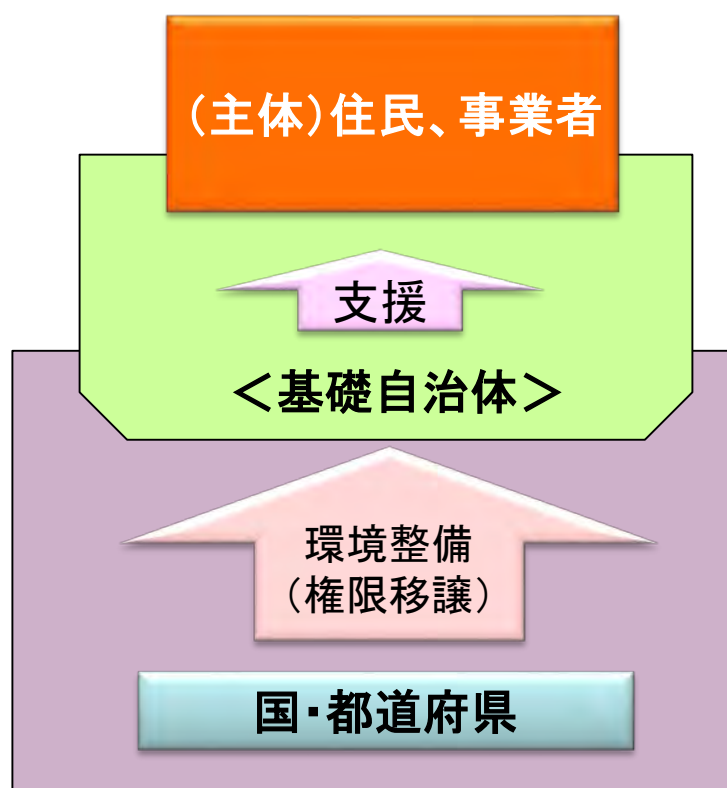
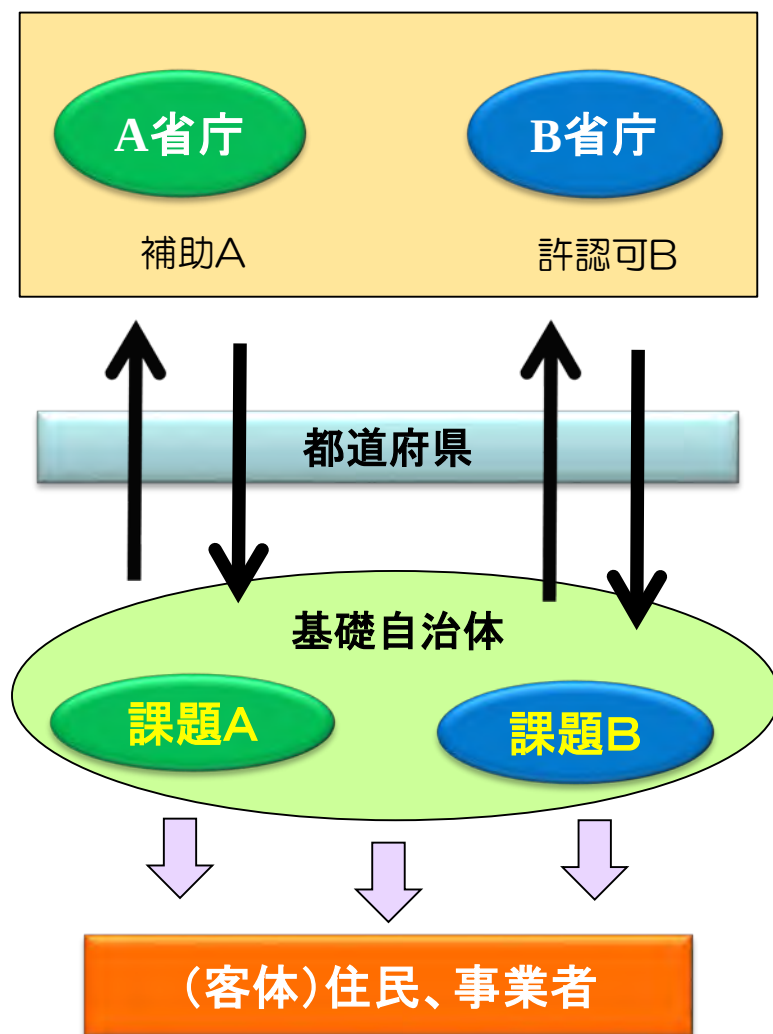
公共サービスイノベーション・プラットフォーム 第2回会合説明資料

2015年10月30日
飯田市長 牧野光朗

人口増加、高度経済成長
(右肩上がりの時代)

人口減少、少子化、高齢化、低成長、
財政難
(右肩下がり時代)

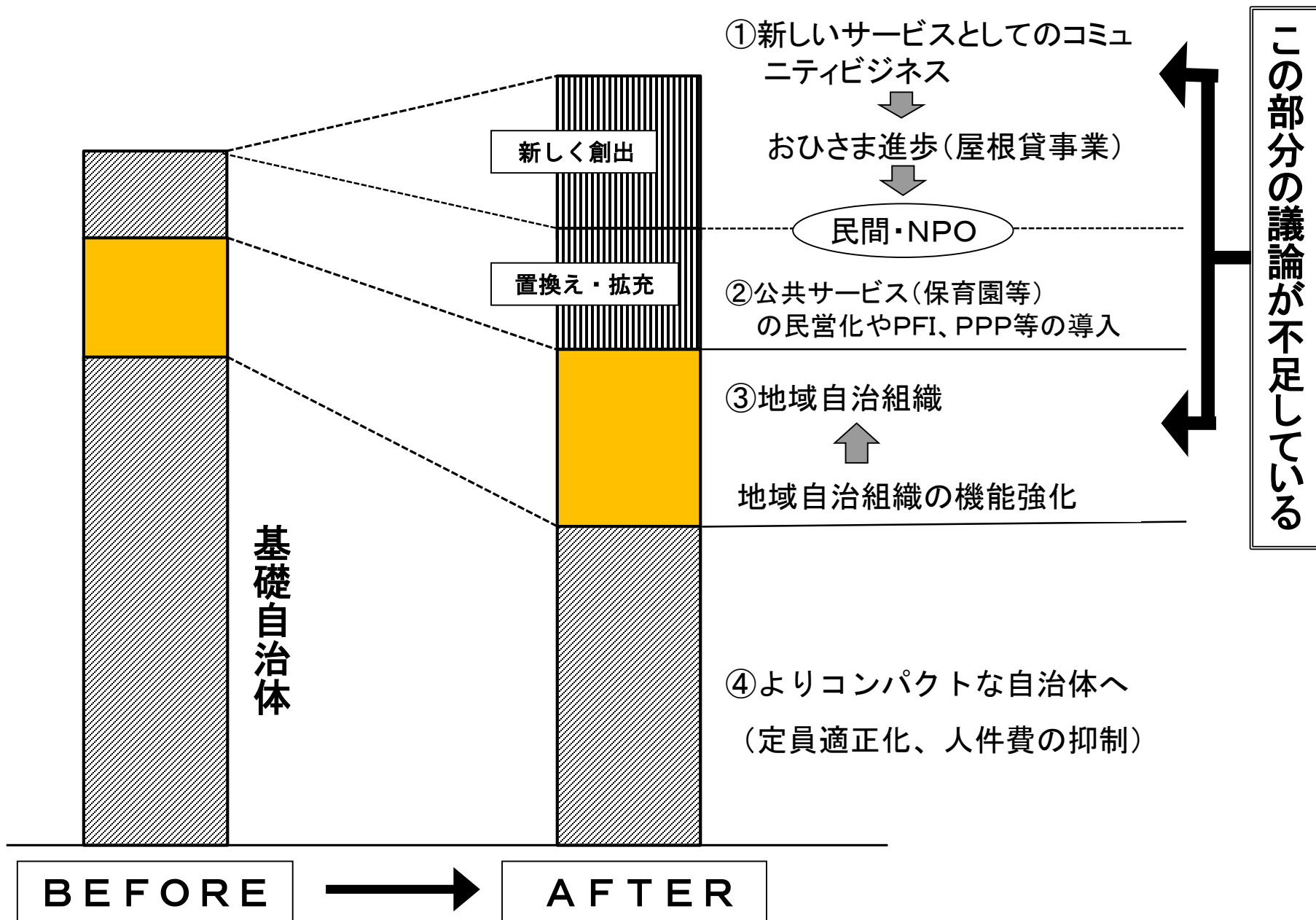
コントロール(管理)



協働・共創

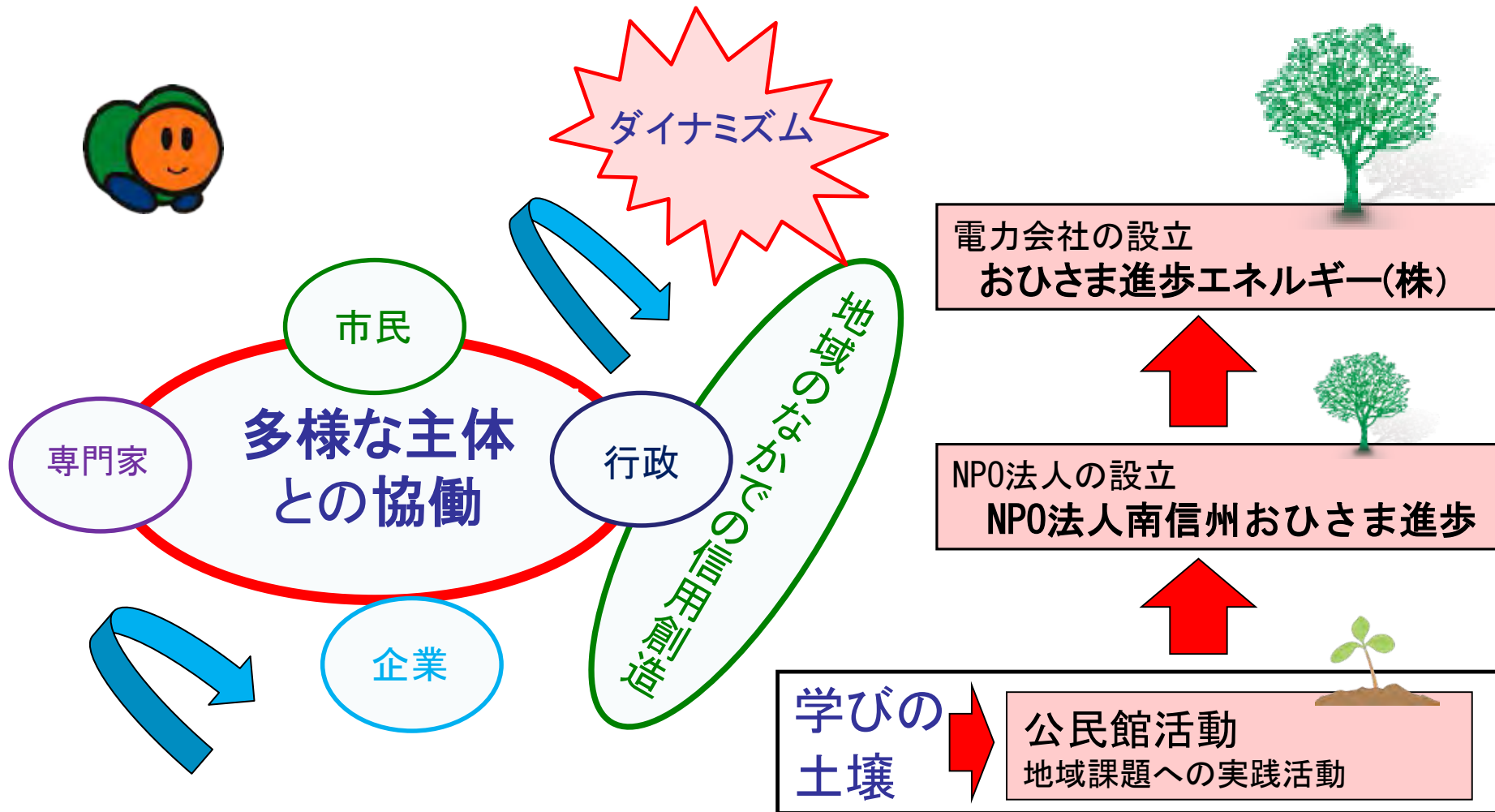
自分たちの地域は
自分たちでつくる
自主自立の時代へ

基礎自治体（市町村）の行政サービスの範囲（イメージ）



①新しいサービスとしてのコミュニティビジネス

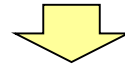
【地域モデル：おひさま進歩のダイナミズムを例に】



①新しいサービスとしてのコミュニティビジネス

～飯田発南信州へおひさま発電所・設置プロジェクト～

民間事業として展開されることで、市町村の枠を超えて地域全体へ広がる



南信地域に現在337箇所、計4,407kW（うち飯田市208箇所、2,955kW）（H27.10現在）

太陽光発電システムの設置（電力の利用）



	2014	2030まで	備考
売上額	3億1,000万円	—	
従業員数	11人	—	
ファンド調達実績 2005～2015(9ファンド)	16億3,280万円	—	337箇所4407kW設置
地域経済付加価値額 基礎数値：7ファンド 11億8,300万円(2005～2013)分		31億5,100万円	※立命館大学経営学部ラウパッパ教授他による試算

②公共サービス（保育園等）の民営化



公立松尾保育園



私立慈光松尾保育園



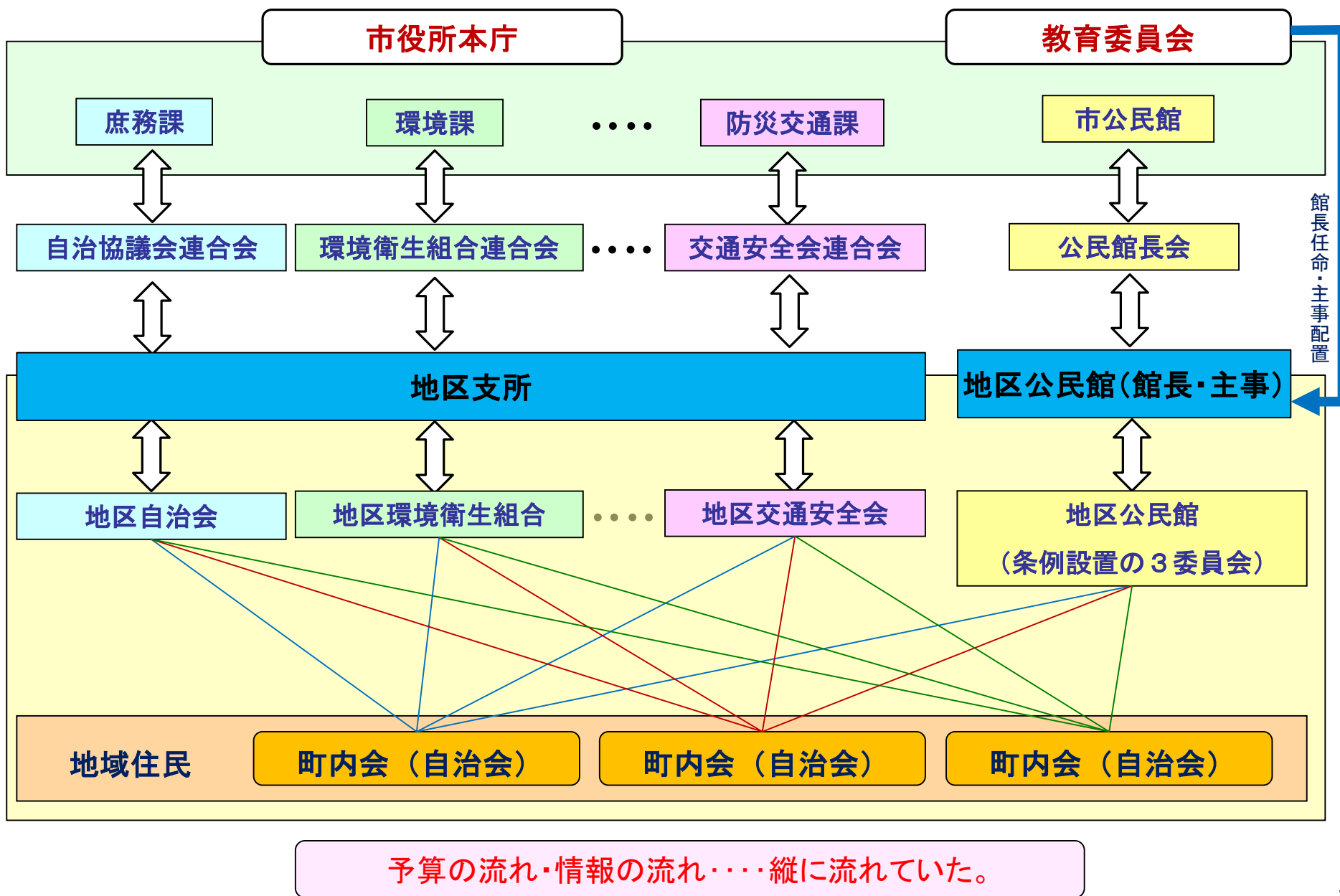
公立千代・千栄
保育園



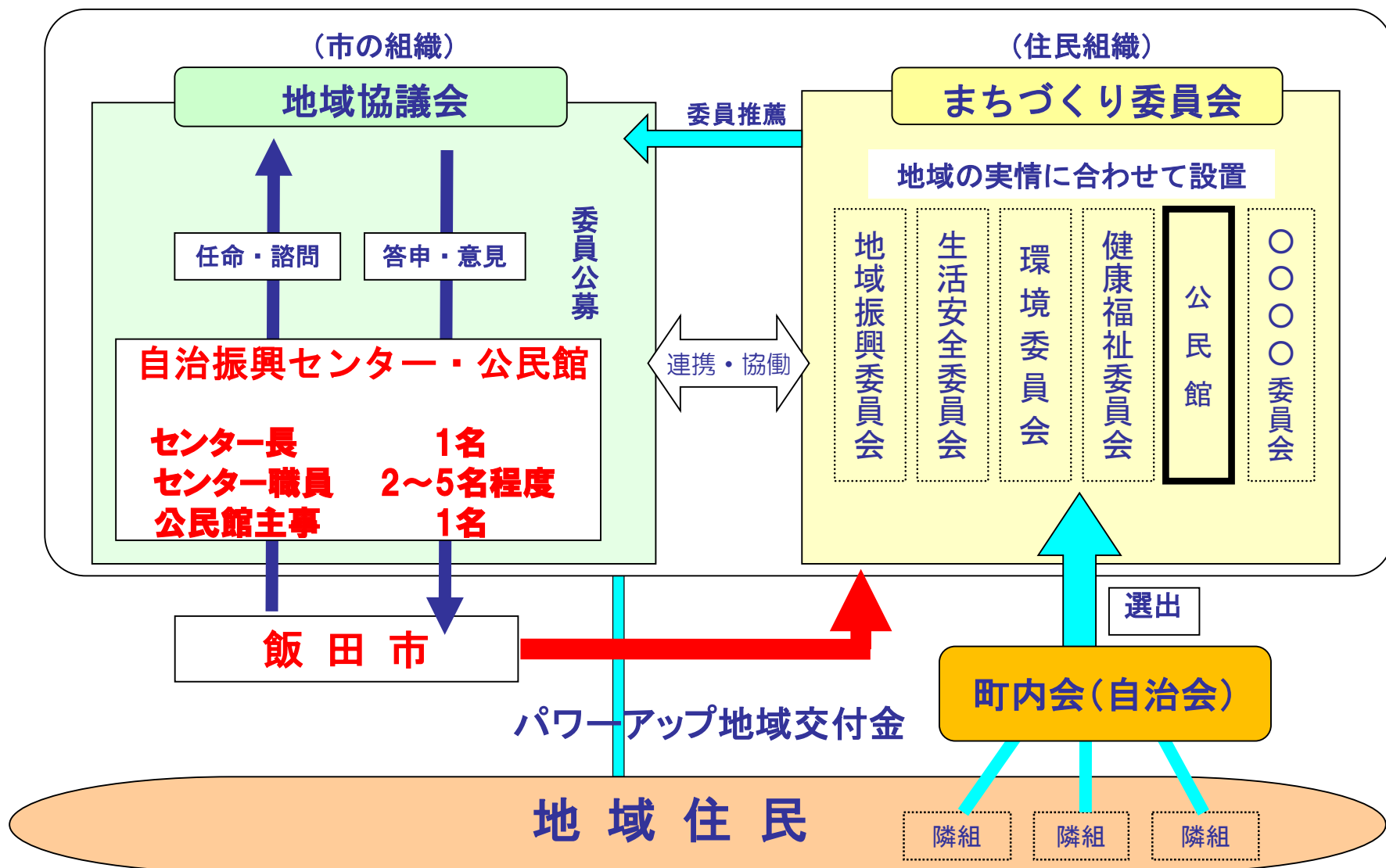
住民等の出資により
社会福祉法人を
設立

	民営化前	現在	削減効果等	
	平成16年度	平成27年度		
公立保育所数(園児数)	26(1,730)	18(1,191)	▲8園(▲539人)	民営化4・統廃合4
公立保育士・調理員数 (正規職員)	151	106	▲45人	人件費 ▲293,602千円／年
私立保育所数(園児数)	14(1,342)	18(1,767)	+4園(+425人)	未満児保育の拡充を 民営化にて対応
運営費(公立)平成25決算			▲383,883千円 (人件費含む)	
人件費を含まない→	424,369千円	334,088千円	(▲90,281千円)	
運営費(私立)平成25決算	577,319千円	858,647千円	281,328千円	公立 未満児160→216(+56人) 私立 未満児315→481(+166)

③飯田市の自治組織 【地域自治区制度を導入】 導入前（平成18年度まで）



③飯田市の自治組織 【地域自治区制度を導入】 導入後（平成19年度～）



各種団体をまちづくり委員会に再編……連合会組織は解散し、代わりに必要に応じて本庁からの情報伝達・地区間の調整等を目的とした連絡会議を開催。

市政経営の考え方や市政の重要課題を市民に語り、地域の課題や市民の思いを一緒に考え、意見交換する場

提 案 ・ 協 働

行政への要望の機会
(要望・陳情)であり、
参加者が自治会の
役員が多かった

あり方
の変化

行政への提案が増えた
(行政も一緒に〇〇してほしい)
幅広い世代の参加者が増えた
(小・中学生や若者といった地域の将来を担う人材)



地区基本構想・基本計画



市内20地区中、17地区で策定済、1地区で策定中

③飯田市の自治組織

菱田春草生誕地公園



菱田春草

明治7年仲ノ町に
生まれる



生誕地には塀と看板
のみで、あまりにさみ
しいため、春草を顕彰
する公園整備の声が
広がる

- H22年 市政懇談会で公園化を提案
橋北地区で署名実施 7割同意
- H23年 「菱田春草誕生の地」整備を願う
市民の会設立 募金活動開始
市と橋北まちづくり委員会で
パートナーシップ協定締結
- H26年 公園工事実施
- H27年 「春草公園を愛する会」管理・活用



平成27年
3月29日
開園

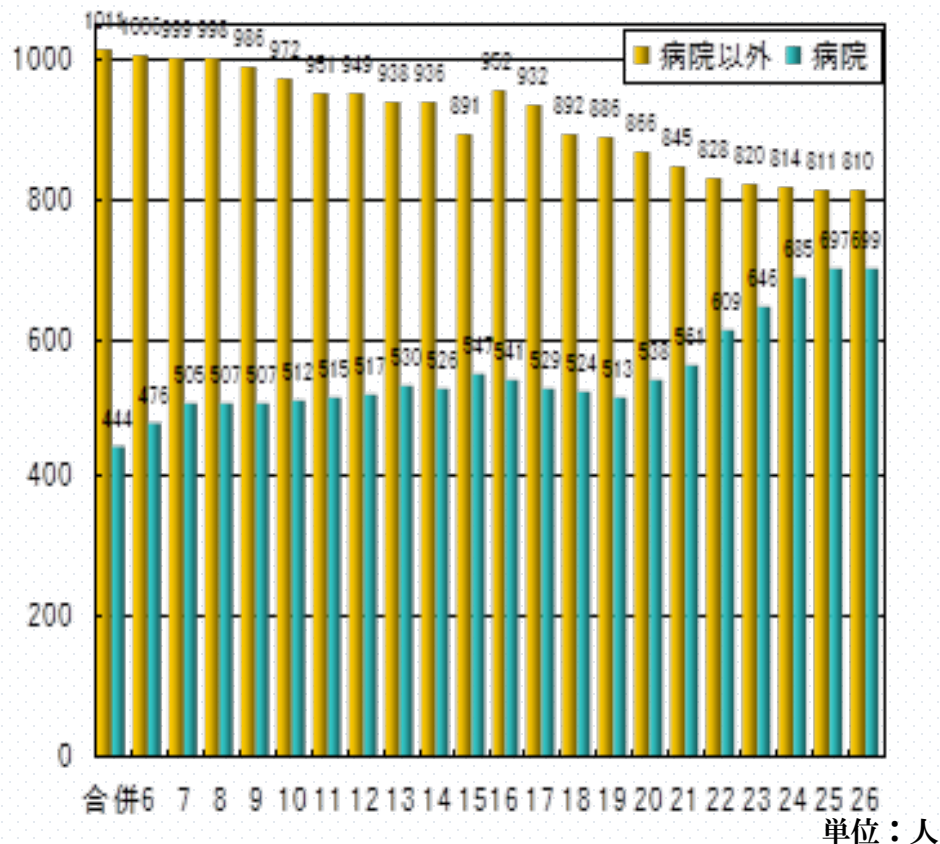


横山大観書のモニュメント

	市負担額			その他サービス拡充等の効果
	行政のみの 場合	地域と協働 した場合	削減効果額	
公園整備	8,171万円	6,371万円	1,800万円	募金2,100万円を集め、市に1,800万円を寄付。
トイレ・休憩所整備 (空家活用)	348万円	0円	348万円	公園の維持管理・活用の拠点とする。 空家活用により住民が整備215万円 ・県支援金130万円獲得＋募金残金(300万円)から85万円
維持管理費	74万円	74万円		自分たちの公園として、業者委託と同額にてそれ以上の維持管理 をしている。 ・毎日朝夕の水やり、草取り、落ち葉掃き、花の支柱立てなど、住民が自分の庭の ように手入れをしている。

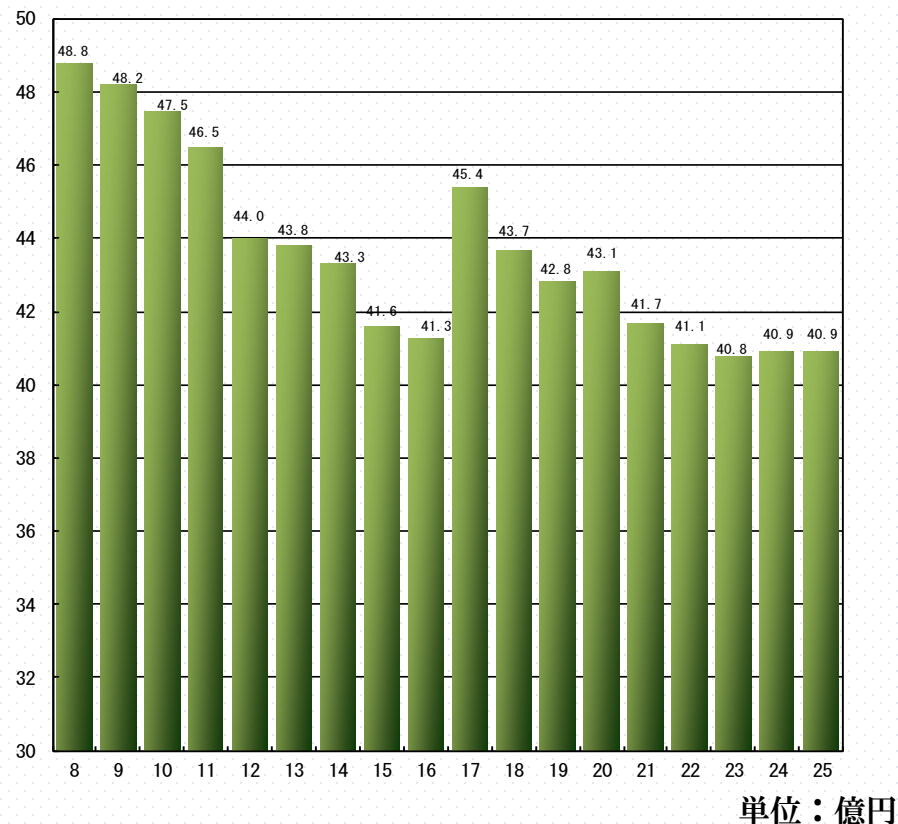
④よりコンパクトな自治体へ(定員適正化、人件費の抑制)

職員数の適正化（推移）



病院以外 平成5年 → 平成26年
1,011人 810人 (▲20%)

職員給与費の抑制



平成8年 → 平成25年
48.8億円 40.9億円 (▲17%)

※病院職員は増えているが、平成21年から黒字化している。